

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0601010100		事業の種類	4	
年度	29	事務事業名	ふるさと応援事業		予算事業名	ふるさと応援事業 優先度 4	
まちづくり目標		まちづくり目標推進のために		担当部局名	企画総務部企画広報課		
施策名(中)		市民力あふれるまちをめざす		担当課長	松尾 次郎	担当者名	岩田 智美
取組み事項		市民参加型のまちづくりシステムを構築する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	有
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市ふるさと応援基金条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	相生のまちづくりに参加しようとする者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	個性豊かで活力とぬくもりのあるまちづくりを推進するため、市に対する寄付金を広く募り、事業の財源にし、その思いを具現化する。					
	事業の全体年度	事業着手年度			(年度)	事業完了予定年度	(年度)

2 事業の概要 Do

実施の概要		5つのテーマ別にふるさと応援寄附金を受付し、その寄附金を財源に事業を実施する。				
活動実績	項目	単位	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度計画
	寄附件数	件	55	2,792	2,433	3,000
	寄附金額	円	7,070,000	61,360,000	49,563,632	54,000,000
	本制度による実施事業	件	4	3	10	10

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		27年度決算	28年度決算	前年比	29年度決算	前年比	30年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.026	100	0.028	108	0.028	100	
	参事以下職員	0.232	0.200	86	0.260	130	0.260	100	
	臨時職員	0.060	0.360	600	0.360	100	0.360	100	
支出内訳	人件費	2,232,218	2,793,946	125	3,326,032	119	3,431,072	103	
	事業費	7,440,775	91,064,681	1,224	81,580,975	90	86,099,000	106	
	合計	9,672,993	93,858,627	970	84,907,007	90	89,530,072	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	7,228,448	57,564,730	796	52,043,571	90	54,007,000	104	
	一般財源	2,444,545	36,293,897	1,485	32,863,436	91	35,523,072	108	
	合計	9,672,993	93,858,627	970	84,907,007	90	89,530,072	105	

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円				
	項目	27年度	28年度	29年度	30年度	/
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		ふるさと応援事業の実施							
指標説明(式)		ふるさと応援寄附金を財源とした各テーマでの実施事業。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
事業	目標	4	4	100.0	10	250.0	10	100.0	
	実績	4	3	75.0	10	333.3			
指標名2		特産品発送件数							
指標説明(式)		特産品PRの手段として、ふるさと応援寄附の寄附者に特産品を贈る。							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
件	目標	30	500	1666.7	5,000	1000.0	5,000	100.0	
	実績	38	4,655	12250.0	4,480	96.2			

【効率性】

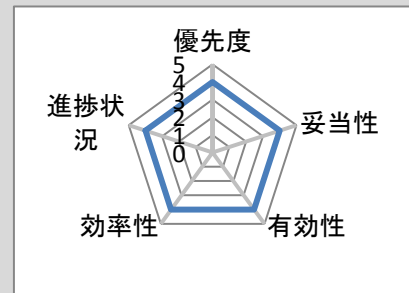
指標名1		返礼品の商品数							
指標説明(式)		返礼品の商品数							
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
人	目標	-	-	-	-	-	130	-	
	実績	3	63	2100.0	120	190.5			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	27年度	28年度	前年比	29年度	前年比	30年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(29年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	間接的ではあるが、相生市に思い入れをもつ人がまちづくりに参画できる。	4
	市民ニーズ	大まかな分野別にテーマ設定しており、市民ニーズに合致している。	
有効性	成果の向上	寄附件数、寄附金額は前年度と比べると減少しているが、事業を実施することにより歳入の確保につながっている。また、お礼の品として送付している特産品等を通じて市外への相生市のPRも期待出来る。	4
	市民サービス	ふるさと応援寄附を財源として実施している事業により、市民サービスの向上につながっている。	
効率性	手段の最適性	寄附の受付が行いやすくなるよう、様々な寄附区分を設けている。	4
	執行体制の効率性	ポータルサイトを活用することにより相生市のPRを行うことができていると考える。また、クレジットカードでの寄附の受付を導入することにより、利便性の向上が図れている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	寄附金額は下がったものの、5,000万円程度の寄附を受け入れることができたため、歳入の確保につながっている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	寄附金額が昨年度と比較して減少しており、さらに寄附を多くつるために改善が必要であると考え。



配点	32.5
総合評価	26

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた30年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	寄附金額の拡大につなげるため、新たなポータルサイトの利用や特産品のPR機会を増やすなどの検討を行う。

(2) 31年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	
見直事項	ふるさと応援寄附者に対し相生市のPRを行っていく。さらに、新たなポータルサイトの利用の検討をし、また、特産品の充実を図ることで、寄附金額の拡大を図る。
新規事項	
方向	継続 成果 拡大 総コスト 維持